

アルファテック343TX

アルファテック343TXは、水中接着型の可とう性エポキシ接着剤です。乾燥面はもとより、濡れたコンクリートと鋼材に対しても、高い接着性能を発揮します。さらに、流動性やチキソ性も併せ持っていることで、充填性に優れています。そのため、土木や建築における、動きのあるコンクリート構造物のひび割れや目地の補修、コンクリート構造物の継部や隙間の充填接着などに最適です。

特長

- 優れた可とう性を長期間にわたって保持するので、構造物の伸縮に追従できます。
- 高チキソロピーでダレにくいので、塗布や、大きなひび割れへの注入が容易で、施工性に優れています。
- 濡れた面の接着で、コンクリートと鋼材に、高い接着強度を発揮します。

用途

- 動きのあるコンクリート構造物のひび割れや目地の充填接着

テクニカルデータ

未硬化物の性状(20℃)		
	アルファテック343TX	
	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
混合比(重量)	100	56
チキソロピックインデックス	5±2	
比重	1.15±0.05	
可使時間	40分	

硬化物の性状			
試験項目	試験方法	養生条件	物性値
引張強さ (N/mm ²)	JIS K 7161	23°C × 7日	2
伸び率 (%)	JIS K 7161	23°C × 7日	25
圧縮せん断接着強さ (N/mm ²) (セメントモルタル相互)	JIS K 6852	23°C × 7日 (乾燥)	3 COF
		23°C × 7日 (湿潤)	2 COF
接着強さ (N/mm ²) (セメントモルタル相互)	JIS A 6024	23°C × 7日 (乾燥)	5 COF
		23°C × 7日 (湿潤)	3 COF
硬化収縮率 (%)	JIS A 6024	23°C × 7日	1.5
硬度 (HDA)	JIS K 7215	23°C × 7日	75

※COF: 接着剤破壊

※上記結果は、当社の試験、研究で得られた試験値です。

使用方法

- ①下地処理：コンクリートの脆弱部分や付着物など、鋼材の錆や塗料・付着物などを除去して下さい。
- ②樹脂混合：主剤と硬化剤を重量比100:56で必要量取り分け、ミキサーで均一になるまで1~2分混合して下さい。
 ・推奨樹脂ミキサー：HIKOKI変速ドリル(D10VH12/0~2600rpm)・ミキサーブレード(Φ80mm)。混合は500~1000rpmで使用して下さい。
 ◇過度攪拌による気泡混入に注意して下さい。
 ◇小分けする場合は混合比率で使用して下さい。
- ③樹脂除去：器具などに付着した樹脂は硬化する前にアセトンやシンナーなどで除去して下さい、硬化樹脂はバーナーで軽く炙り除去して下さい。

容器形態

【10kg / 8.6L セット】

主剤	6.4kg	(角缶)
硬化剤	3.6kg	(角缶)

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願い致します。

注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行ってください。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹼水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読み下さい。

アルファ工業株式会社
ALPHA KOGYO K.K.

横浜本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550
 URL: <https://www.alpha-kogyo.com> / E-mail: alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp
 1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN
 神戸事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282
 6-3-3 ASHIHARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN